

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス高島平2号館		
○保護者評価実施期間	2025年12月5日		～ 2026年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年12月5日		～ 2025年12月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内の活動プログラムが多様多様。	集団レクリエーションを平日は1つ、休日は2～3つ行っている。 就労を目指す児童が多い施設であるため、作業に必要な能力を楽しくて学んでもらえるようなレクリエーションもプログラムに組み込んでいる。(お菓子の封入・ボールペンの組み立て等)	外出レクリエーションを組み込む。
2	半年に1度面談を行い、個別支援計画を作成し、それに沿った支援を行うようにしている	帰りの会の際、個別支援計画の目標を児童にわかりやすい言葉で言語化し反映させたカード「できたよカード」を利用してきたところにシールを貼るようにしている。職員・児童ともに個人個人の目標を意識し、活動することができている。	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用者様のみではなく、ご家族様に向けた支援プログラムが行えていないこと。	方法手段の確立。時間の確保。	半年に一度全ご家庭と面談をしているため、その際ご家族に焦点を充てた内容の話をしたり、三者面談等希望があるか意見を集めたり、方法手段を検討し、実行する。その後支援プログラムとして面談以外の時間を設けていくことも検討。
2	外出レクなど、外に出て学ぶ機会や地域交流の機会が少ないこと。	安全面を考慮した職員体制 早めの計画	余裕を持った計画をすること 職員体制をしっかりと整えること 安全対策を第一に考え外出する場面を増やしていきたい。
3	SNSやHPを使って施設の活動内容や、その様子、スケジュールが発信できていない	個人情報を保護するため	重要なお知らせ等はノートに折込を入れ、周知しているが会社のHPがあること、ブログが更新されていることが知られていない。 発信していく方法を強化していき、様子がわかるようになっていく。